

生かされたのか!?

●提言 2 災害対策について

提言項目		町当局の回答
1	①災害時にリアルタイムで状況を伝えることのできる緊急情報サービスの提供に向けた環境整備	◎実施中のエリアメール、屋外拡声器、緊急配信メール等に加え、今年度よりインフォメーションアプリを導入する。高齢者世帯に戸別受信機の配備を進め、避難指示等の災害情報を的確に伝達する体制整備を図る。
	②十分な感染症拡大防止対策を講じながら、避難所でも情報伝達・収集できる整備	◎受付時の体調チェックや手指消毒等の感染防止対策を徹底。また、各コミュニティセンターの避難スペースにテレビを配備した。Wi-Fi環境の整備を進め、避難者の情報収集環境の改善に努める。
2	①地域防災計画の運営マニュアル等の作成により、防災に対する町民の関心・理解を図ること	◎災害発生時にスムーズに活動をいただけるような体制づくりの支援を継続していく。
3	①豪雨災害の箇所については、現況復旧に加え改良復旧にも取り組めるように国・県に強い働きかけ	◎早急な災害復旧工事の実施に加え、再被災防止のための被災原因除去や改良復旧方法等を検討し、国・県に要望する。
4	①災害発生時の道路の被害状況を把握、迅速に対応できる体制づくり	◎国・県の災害時のパトロール体制も参考にしつつ、迅速に対応できる体制づくりを検討していく。
5	①国道348号の路肩崩落など、重要幹線道路の早期復旧について国・県への働きかけ	◎年内の復旧に向け、現在、工事が進められており、今後も引き続き、発注者である県と連携しながら、早期復旧に努めていく。
	②重要課題である国道287号菖蒲、下山地内の早期完成	◎昨年度より菖蒲地内において路線測量、詳細設計などが行われている。事業促進に向け、県への要望活動を行っていく。
	③西廻り ^{まわ} 幹線道路の早期着工	◎昨年度から一般調査が実施されている。引き続き県へ要望を行い、長井～白鷹間西廻り幹線道路建設促進期成同盟会においても要望活動を行う。
	④国道348号の再整備	◎令和4年度から本格的な要望、啓発活動を開始していくべく、年内の期成同盟会設立に向け、協議を重ねながら、準備を進めていく。
6	①農繁期に向けての農地等の迅速な災害復旧	◎国の災害復旧事業を最大限活用しながら、営農活動に支障が生じないように対応していく。
	②農業が将来にわたり希望が持てる産業として成り立つための各種支援の充実	◎国・県の各種施策も有効に活用しつつ、関係機関との連携を図りながら取り組んでいく。